



2023年8月18日

各 位

会社名 リベステ株式会社
代表者名 代表取締役社長 坂本真一
(コード8887・スタンダード市場)
問合せ先
役職・氏名 取締役 上林剛
電 話 048-944-1849

「第45期定時株主総会招集ご通知」の一部訂正について

当社は、「第45期定時株主総会招集ご通知」について、一部訂正すべき事項がありましたので、謹んでお詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正のご連絡をさせていただきます。

(訂正箇所には_で表示しております。)

なお、当社ウェブサイト及び東京証券取引所ウェブサイトの開示いたしております「第45期定時株主総会招集ご通知」につきましては訂正後の内容を掲載しております。

記

【訂正箇所①】

3頁 インターネットによる議決権行使のお手続きについて

1. 議決権行使サイトについて

(訂正前)

(3)インターネットによる議決権行使は、2023年6月22日(木曜日)の午後5時30分まで受け付けいたしますが、お早めに行使していただき、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

(訂正後)

(3)インターネットによる議決権行使は、2023年8月28日(月曜日)の午後5時30分まで受け付けいたしますが、お早めに行使していただき、ご不明な点等がございましたらヘルプデスクへお問い合わせください。

【訂正箇所②】

10頁 1. 会社の現況

(1) 当事業年度の事業の概況 ①事業の経過及び成果

(訂正前)

この結果、当事業年度における売上高は7,444百万円(前年同期比22.7%増)、営業利益は1,087百万円(前年同期比2.7%減)、経常利益は1,081百万円(前年同期比6.2%増)となり、当期純利益は765百万円(前年同期比8.4%減)となりました。セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[開発事業]

開発事業につきましては、「ベルドゥムール草加金明通り」、「ベルドゥムール秋田千秋公園」及び分譲マンション以上に高級感のある高級賃貸物件「ベルジュール越谷」、並びにグループステイ向けホテル「FAV TOKYO 両国」をファンドに売却し、売上高が4,349百万円（前年同期比94.7%増）、セグメント利益825百万円（前年同期比205.8%増）となりました。

[建築事業]

建築事業につきましては、請負工事を主体とした売上高が457百万円（前年同期比40.5%減）、セグメント損失が46百万円（前年同期はセグメント利益が62百万円）となりました。

[不動産販売事業]

不動産販売事業につきましては、都内の物件及び収益物件を複数売却したことによる売上高が2,100百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント利益が404百万円（前年同期比51.6%減）となりました。

[その他事業]

その他事業につきましては、賃貸住宅の仲介・管理及び不動産の売買仲介等を中心に売上高が535百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益が185百万円（前年同期比23.6%減）となりました。セグメント別売上状況は次のとおりであります。

(訂正後)

この結果、当事業年度における売上高は7,444百万円（前年同期比22.7%増）、営業利益は1,083百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は1,081百万円（前年同期比6.2%増）となり、当期純利益は765百万円（前年同期比8.4%減）となりました。セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[開発事業]

開発事業につきましては、「ベルドゥムール草加金明通り」、「ベルドゥムール秋田千秋公園」及び分譲マンション以上に高級感のある高級賃貸物件「ベルジュール越谷」、並びにグループステイ向けホテル「FAV TOKYO 両国」をファンドに売却し、売上高が4,349百万円（前年同期比94.7%増）、セグメント利益823百万円（前年同期比205.2%増）となりました。

[建築事業]

建築事業につきましては、請負工事を主体とした売上高が457百万円（前年同期比40.5%減）、セグメント損失が47百万円（前年同期はセグメント利益が62百万円）となりました。

[不動産販売事業]

不動産販売事業につきましては、都内の物件及び収益物件を複数売却したことによる売上高が2,100百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント利益が403百万円（前年同期比51.6%減）となりました。

[その他事業]

その他事業につきましては、賃貸住宅の仲介・管理及び不動産の売買仲介等を中心に売上高が535百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益が184百万円（前年同期比23.8%減）となりました。セグメント別売上状況は次のとおりであります。

以上